

Canon

ダイヤル35-2

使用説明書



Canon

ダイヤル35-2

キヤノンダイヤル 35-2 をお選びいただきましてありがとうございます。

ダイヤル35-2 は機能美に輝く異色のハーフサイズEE で、シャッターを切れば自動的にフィルムが巻上がります。スピード感あふれるダイヤル 35-2 で、気軽にスナップ撮影をお楽しみください。



ファインダー窓

照明窓

フォーカシングレバー

フィルム感度指標

ASA 感度調節レンズ群

撮影レンズ

フィルム感度目盛

シャッター指標

シャッターボタン

フィルム枚数計

オート・フラッシュ切換えボタン

フィルム巻戻し用ボタン

スプリングモーター巻上げ
グリップ

キヤノンダイアル 35-2 の 10大特長

- 1 スプリングモーターによる自動的なフィルム巻上げと巻戻し
- 2 グリップを巻上げるだけで自動的にフィルムリーダー部が空送りできる
- 3 フィルム送り・巻戻しのいずれにも連動する逆転可能フィルム枚数計
- 4 カメラを向ければ自動的に適正絞りを選ぶ正確な EE 機構, シャッター優先式
- 5 スナップマークを利用してピント合わせ不要の簡単なスナップ撮影ができる
- 6 露出, ピント, 構図など撮影に必要な情報が一目でわかる明るいマークファインダー
- 7 フィルター倍数の自動補正, フィルター使用のときもそのまま EE 撮影ができる
- 8 リストストラップ組込みの使いやすい大型グリップ

- 9 フラッシュ D 用直結式ターミナル及び JIS B 型ターミナル
- 10 気軽に片手で撮影できる構造とユニークなデザイン



キヤノンダイアル 35-2 の主要性能

型式: 35 mm フィルム使用の 24×18 mm 判
ハーフサイズ EE カメラ

レンズ: キヤノンレンズ SE 28 mm F 2.8

3 群5 枚構成

焦点調節: 三つの絵によるゾーンフォーカス式焦点調節, スナップマークを用いて固定焦点撮影ができる

シャッター: 1/30~1/250 秒

E E 露出: CdS によるシャッター優先式 E E, 手動絞り可能, 電源に MD 型水銀電池 1 個使用

メーター連動範囲: ASA 100 に対して EV 8~EV 17, フィルム感度目盛 ASA 10~1000

ファインダー: マークファインダー, パララックス補正マーク・絞り目盛・ゾーンフォーカスマークおよびスナップマークを視野内に表示

フィルム自動巻上げ・巻戻し: スプリングモーターによるパワードライブ方式. 1 回のフルチャージで約 20 枚の連続撮影可能

自動空送り装置: フィルム装填後 スプリングモーターを巻上げると自動的にフィルムリーダー部を巻上げ 1 枚目にセットされる

フィルム枚数計: 巻上げ・巻戻しに連動する自動表示式

フラッシュ同調: X 接点, スピードライト, M 級 MF 級に同調, JIS B 型ソケットのほかアクセサリシューにフラッシュ D 用の直結接点あり

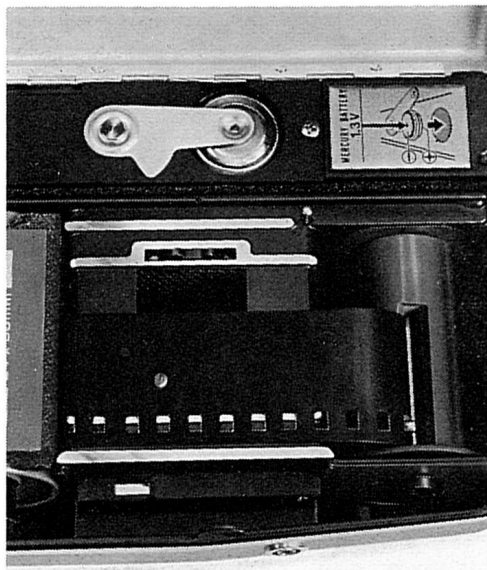
リストストラップ: 巻上げグリップ下部に組込み式

大きさ・重量: 99×75.5×43.5 mm・410 g

キャノンダイアル 35-2 の撮影はこんなに簡単です

1

フィルムをつめます。



2

スプリングモーターを巻上げます。



3

フィルム感度を合わせます。



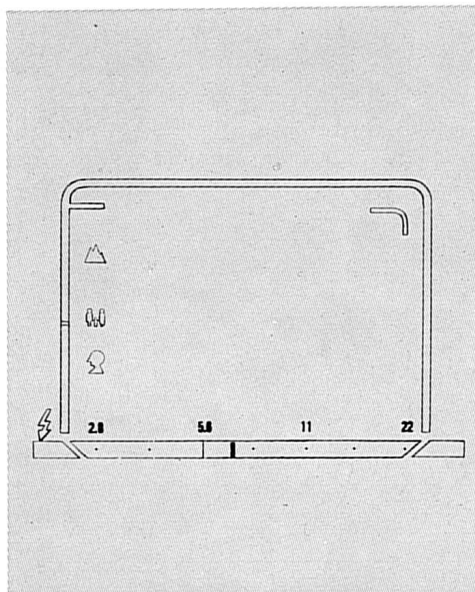
4

シャッタースピードをきめます。



5

ファインダー視野内でピントを合わせ、メーター指針を確かめます。



6

シャッターボタンを押します。

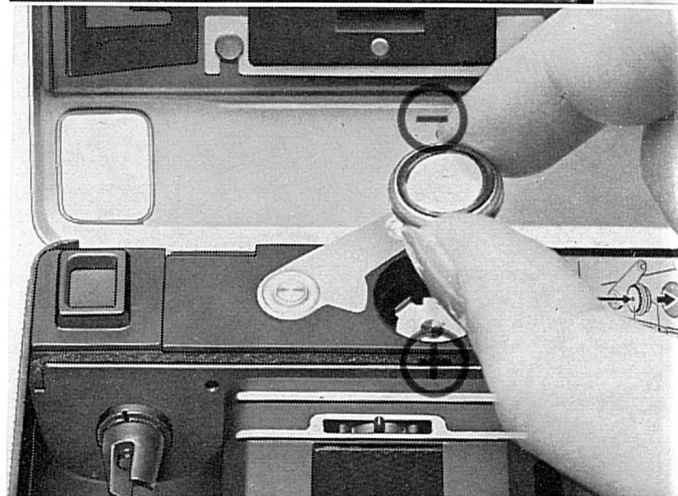
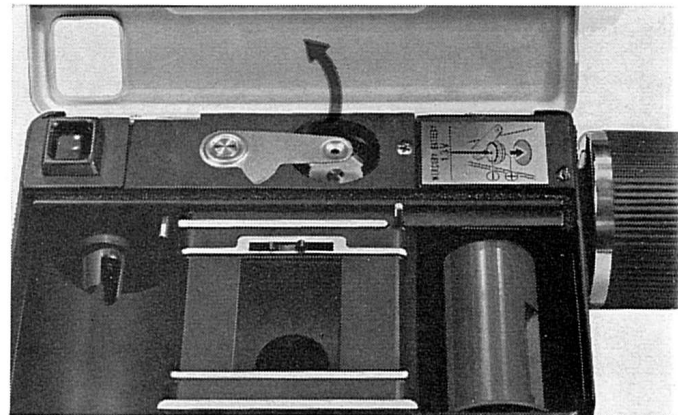


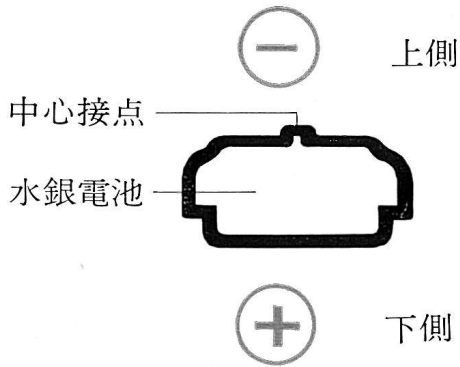
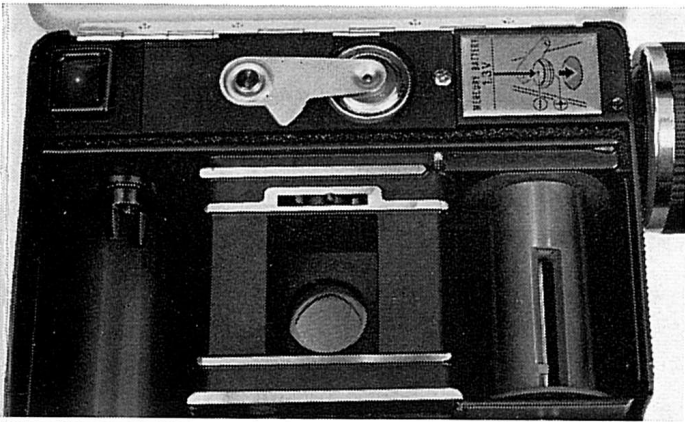
・ご使用のまえに水銀電池をつめてください

別封の水銀電池をカメラに装填してください。水銀電池は露出計（メーター）の電源ですから、入れ忘れると露出計がはたらきません。

1 押え金具の先端を横に回します。

2 電池は図にしたがって入れてください。
電池の⊖側（中心接点のあるほう）が上面になります。





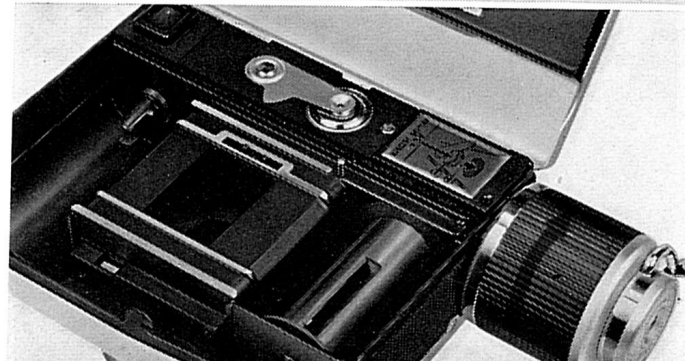
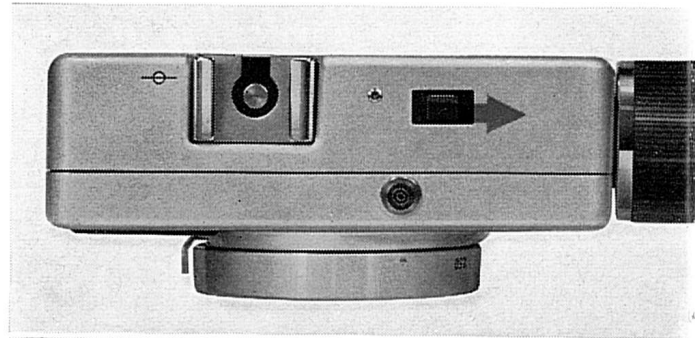
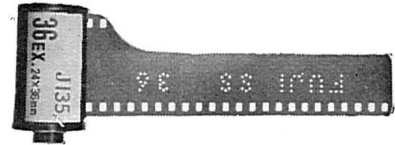
3 押え金具をもとに戻します。

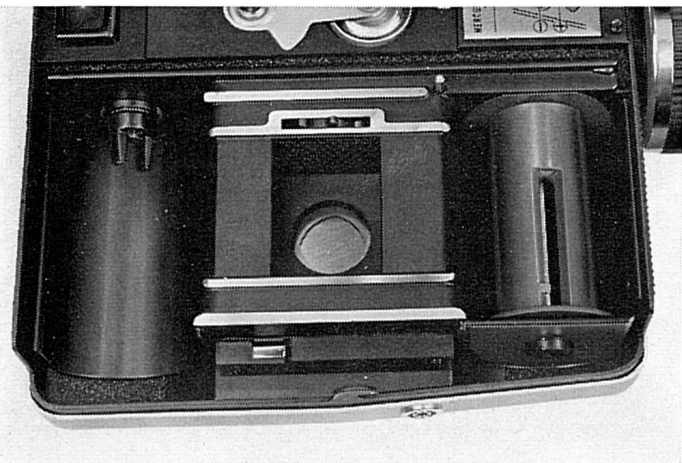
- 水銀電池は 1.3 V，ナショナルの M-1 D 型，東芝の TH-MC，米国の Mallory RM 625 N，Eveready E 625 R などをご使用ください。
- 水銀電池は乾いた布でよく拭いて，汗や指紋を落としてください。これをおこたると腐蝕の原因になる恐れがあります。
- 電池は約一カ年の使用に耐えます。電池の寿命が切れるとメーター指針がはたらかなくなりますから，このときは水銀電池を取り換えてください。
- 水銀電池の⊕⊖をまちがえるとメーターは，はたらきませんからご注意ください。
- 長期間カメラを使用しないときは，電池を取り出して，乾燥した場所に保存してください。

フィルムのつめかた

フィルムは市販の 35 mm パトローネ入りフィルムを使います。

- 1 裏蓋開閉ノブを矢印方向に押し下げると裏蓋が開きます。
 - 裏蓋を開くと、フィルム枚数計は S（スタート位置）を示します。
- 2 グリップを右回しに回して、巻取りスプールの回転を確認めます。



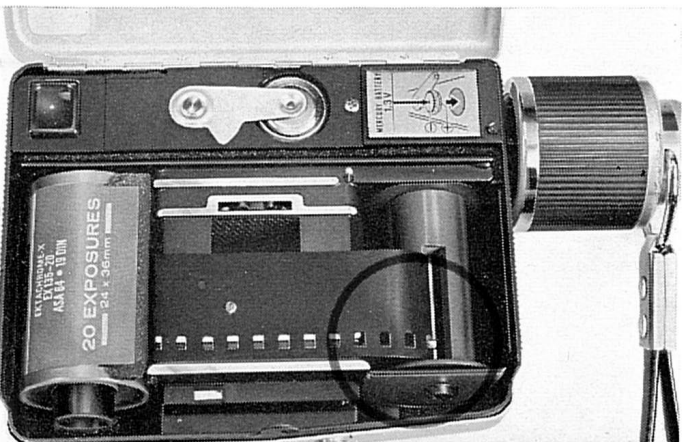


3 パトローネ室にフィルムを収めます。

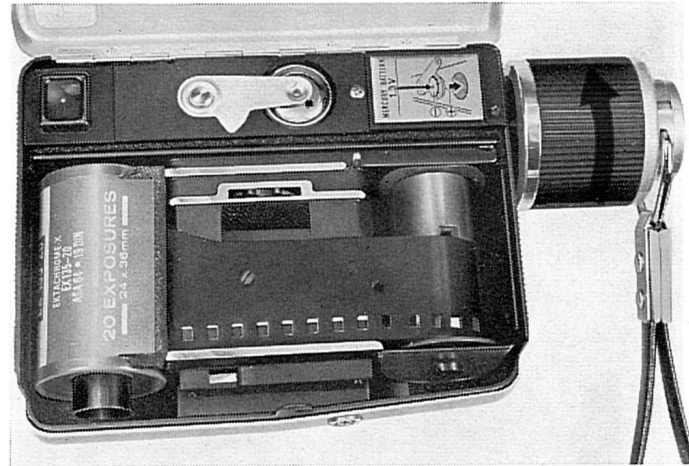
- 巻戻しフォークは引き出せないようになっていますから、パトローネを斜めにして室内に収めます。
- パトローネがなかなか収まらない場合には、指先でパトローネを軽く左右に動かすと簡単に収まります。

4 フィルムの先端を巻取りスプールの溝に差し込み、フィルムの孔を確実に突起にかけます。

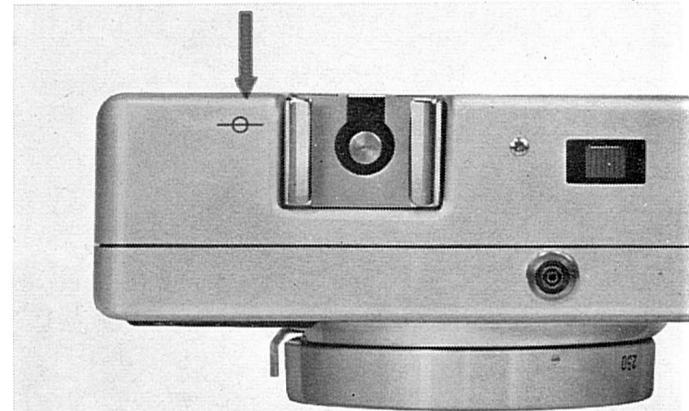
- スプールの溝がかくれているときはグリップを回して、つめやすい位置に出します。



5 グリップを少し回して、フィルムのたるみをとります。



6 裏蓋を押しつけて閉じます。



フィルムリーダーの空送り

1 裏蓋を閉じてから、矢印の方向にグリップを回してスプリングモーターを巻上げると、フィルム枚数計はSから0まで進みます。

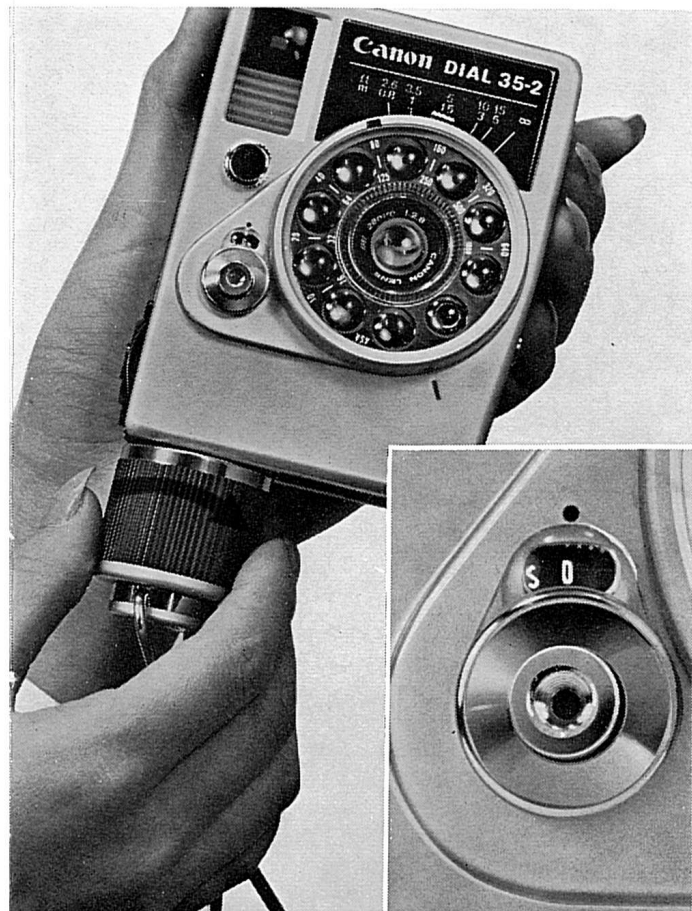
●この間にフィルムのリーダー部分が送られて、自動的に1枚目がセットされます。

2 枚数計が0を示してからも、グリップが空回りするまで一杯に回してスプリングモーターを巻上げておきます。

●上記の巻上げで、フィルム20枚以上の連続撮影ができます。さらに撮影を続けたいときは、もう一度スプリングモーターを一杯に巻上げてください。

●スプリングモーターを巻上げないと、フィルムは巻かれず、シャッターも切れません。

●フィルム枚数計は5枚目ごとに数字が目盛りされています。



フィルム感度セット

1 撮影レンズの外側にあるローレットに指をかけて回し

2 使用するフィルムの感度の目盛を、シャッターリングに彫刻してある指標に合わせます。

| | | | | | | |
|--------|----|----|-----|-----|-----|------|
| ASA 10 | 20 | 40 | 80 | 160 | 320 | 640 |
| | | | | | | |
| 16 | 32 | 64 | 125 | 250 | 500 | 1000 |

現在市販されている一般撮影用のフィルムの感度は、すべて上記の数値の範囲です。

●各目盛はそれぞれ指標の位置でクリックストップします。クリックの位置できちんと止めないと、正しい露出が得られません。



カメラの構え方

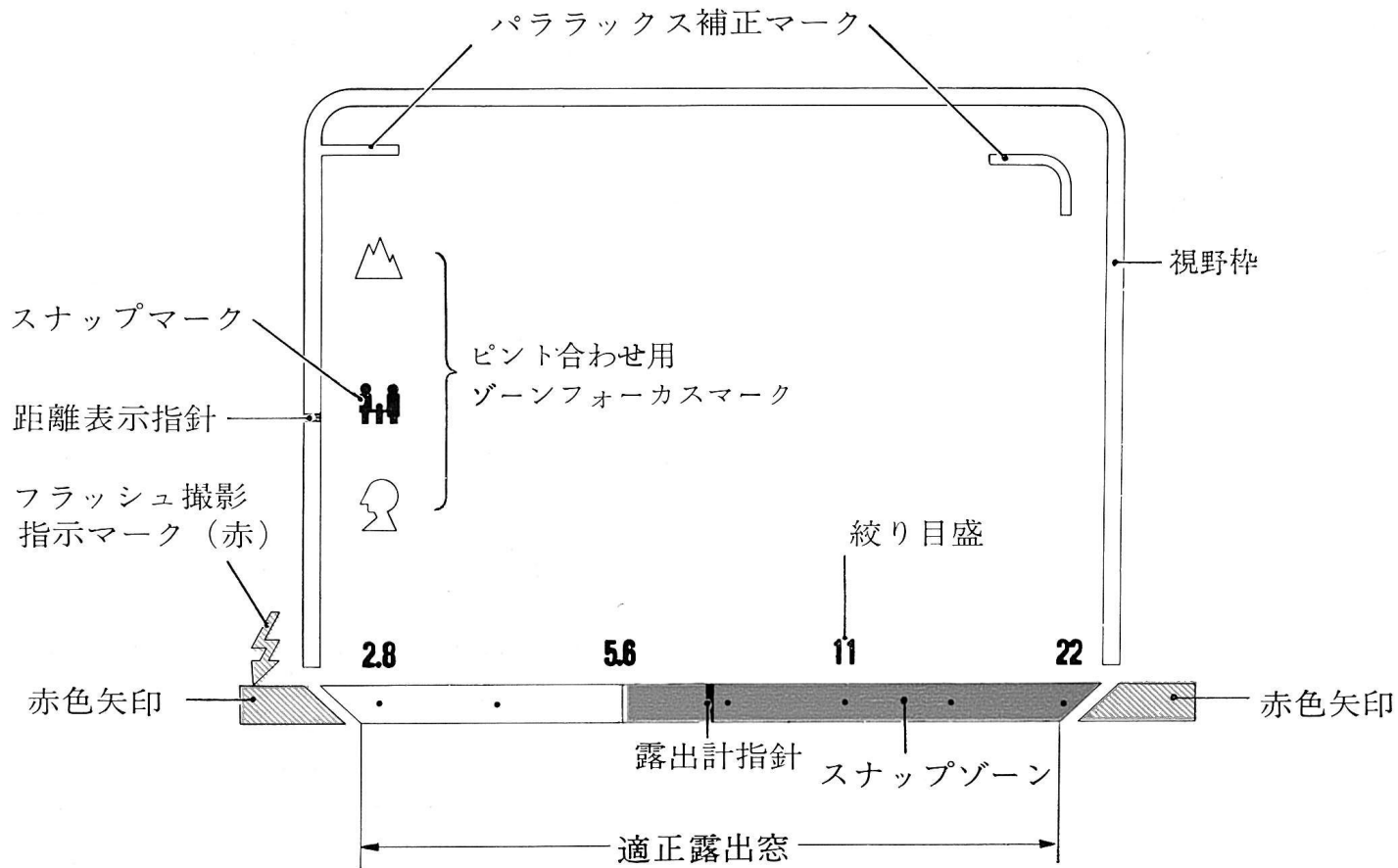
ダイヤル 35-2 は、ファインダーをのぞくとカメラの上部が自然に額に当たり、カメラぶれを防ぐようにデザインされています。



ファインダー内の撮影情報

- 1 ファインダーをのぞきます。
- 2 ファインダー視野には、構図をきめるフレーム・3つのゾーンフォーカスマーク・ピント合わせの指針・スナップ撮影用のブルーゾーン・絞り数値や露出計指針が見えます。





1 EE 撮影をするときは、つねにオート・フラッシュ切換えボタンを押し込んだ状態にしてください。

2 ピント合わせ
ファインダーをのぞきながらフォーカシングレバーを回して、ゾーンフォーカスマークのなかから被写体までの距離にふさわしいものに指針を合わせます。



遠距離マーク 10 m 以上

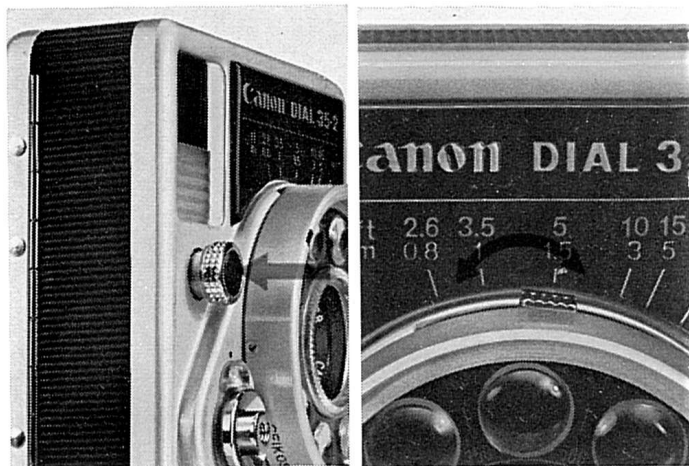


中距離マーク (スナップマーク)
約 3 m



近距離マーク 約 1 m

● さらに正確な距離合わせをしたいときにはフォーカシングレバーを左右に回して、使用する距離目盛にレバーの指標を合わせます。



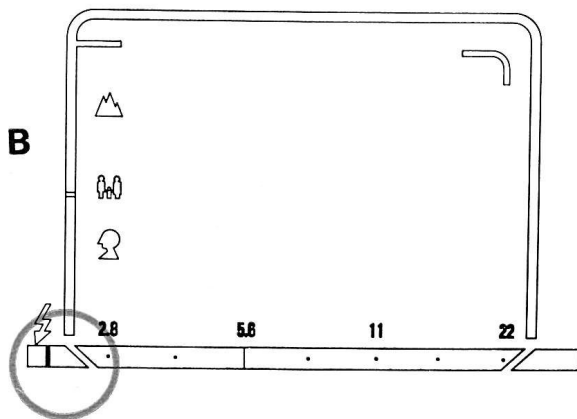
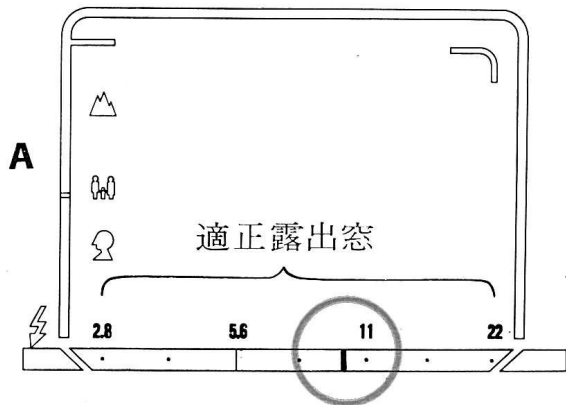
遠距離マーク
10m以上



中距離マーク
約 3 m
(スナップマーク)



近距離マーク
約 1 m



● スナップマーク(⚡)は、戸外のスナップ撮影用のものでこれを利用するととくに簡単に撮影できます。(22 ページ参照)

3 構図を決める
白線の中がフィルムに写る範囲です。ただし近距離撮影(1 m 以下)のときは多少のパララックスが出ますから、補正マーク内で構図をきめてください。

4 露出の確認

A. 指針が適正露出窓にあるとき



E E 露出 OK, 構図をきめてシャッターボタンを押してください。

B. 指針が左右の警告マーク内にあるとき



被写体の明るさに対して、シャッタースピー

ドが速すぎるか遅すぎるかということを示しています。

このときはシャッターリングを回し、適正露出窓のなかに指針がはいるようにします。

- C. シャッターリングを一杯に回しても指針が警告マークから出ないとき

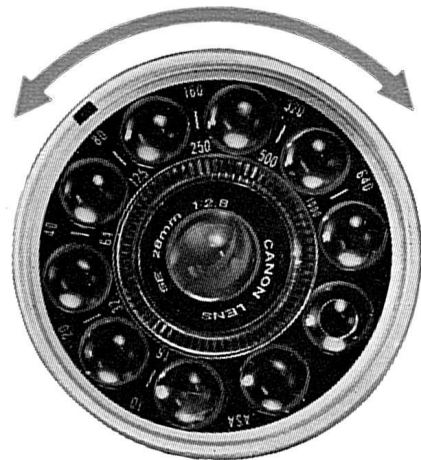
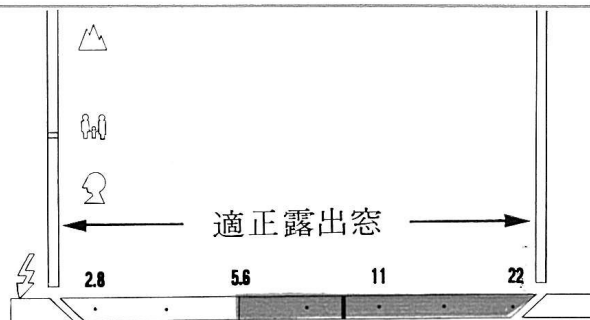


(i) 左側のフラッシュマーク内のときは→暗すぎます。フラッシュ撮影をしてください。

(ii) 右側の露出オーバーマーク内のときは→明るすぎます。ND 4, ND 8などのフィルターを使用します。

●あらかじめシャッタースピードを、快晴250, 晴125, 曇60, 室内または雨30ときめて指標にセットしておくとう便利です。

●適正露出窓の上の数字は絞り値です。指針の位置で適正絞りが読み取れます。





● 指針が警告マークのなかにあるときでもシャッターは切れるようになっています。ただし適正露出は得られません。

シャッターボタンを押す

シャッターボタンは手ぶれのない鮮明な写真を撮るため静かに押します。

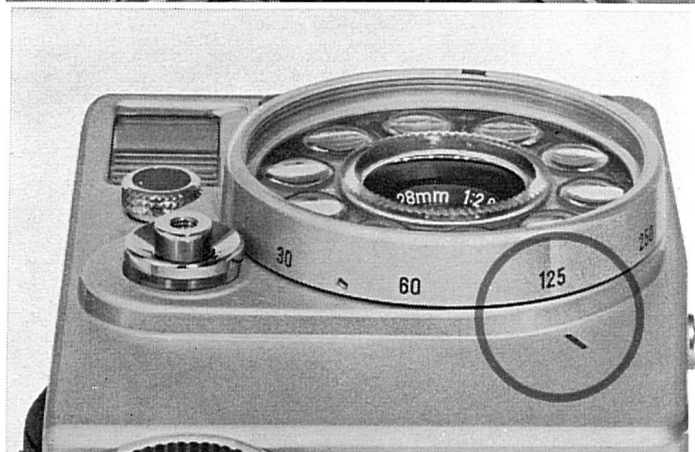
- シャッターが切れてボタンが元の位置に戻ると同時に、スプリングモーターによって自動的に1コマ分のフィルムが巻上げられて、次の撮影ができます。
- フィルムが送られている最中にシャッターボタンを押さないでください。

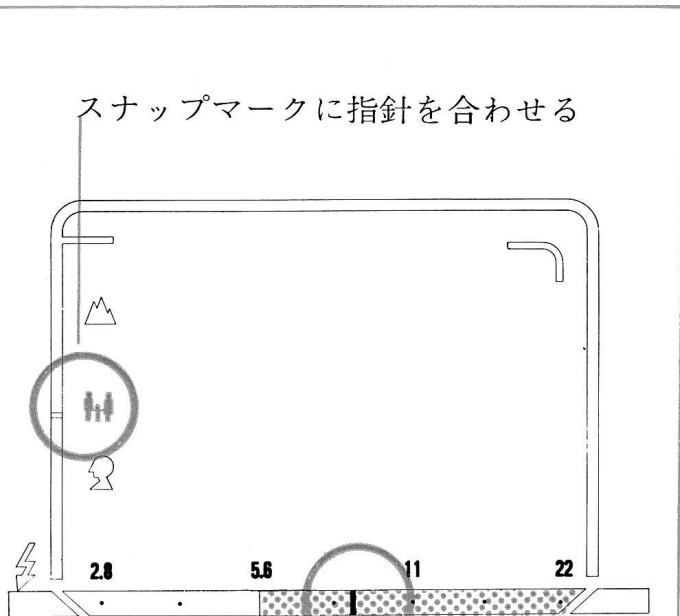
スナップマークの利用法

戸外の撮影時には、あらかじめファインダー内のスナップマークに距離指針を合わせておくと、ごく簡単にスナップ撮影を楽しむことができます。

1 ファインダーをのぞき、フォーカシングレバーを回して、距離指針をブルーのスナップマーク(1H)に合わせます。

2 戸外のスナップ撮影の場合、シャッタースピードは125に合わせておきます。





スナップマークに指針を合わせる

露出計指針が
スナップゾーンにある

3 このときファインダー内の露出計指針がブルーのスナップゾーンにあれば、被写体までの距離にかかわらず、ピント合わせ不要でシャープな写真がとれます。そのままシャッターを切ってください。

- 戸外のスナップ撮影の明るさなら、ほとんどの場合、露出計指針はスナップゾーンにはいります。
- もしスナップゾーンから指針はずれ、適正露出窓の白色ゾーンにはいったときは被写体までの距離に合わせてピント合わせをし直してからシャッターを切ってください。

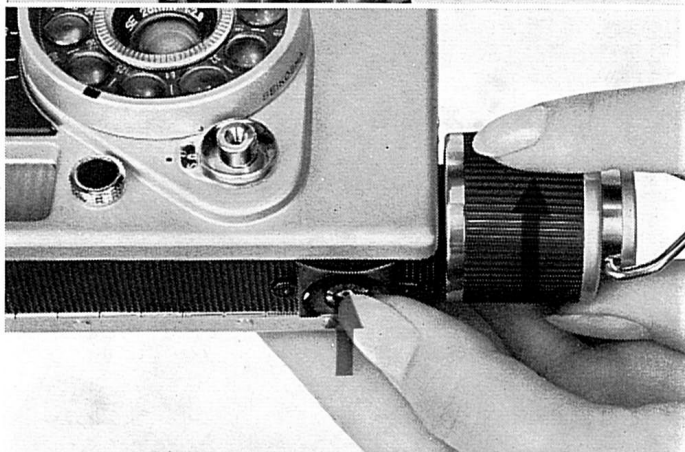
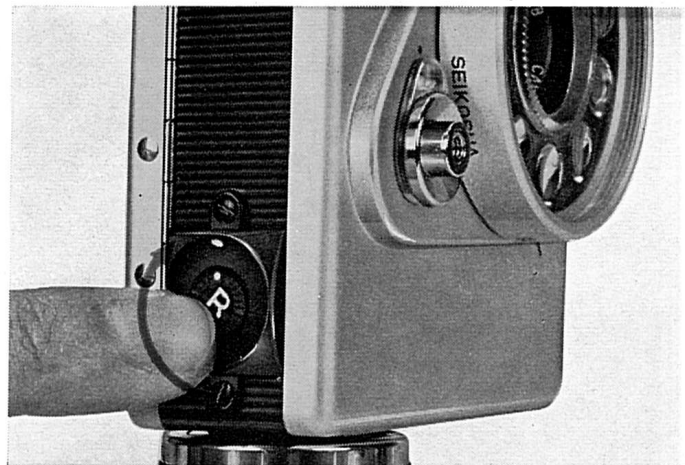
フィルム巻戻し

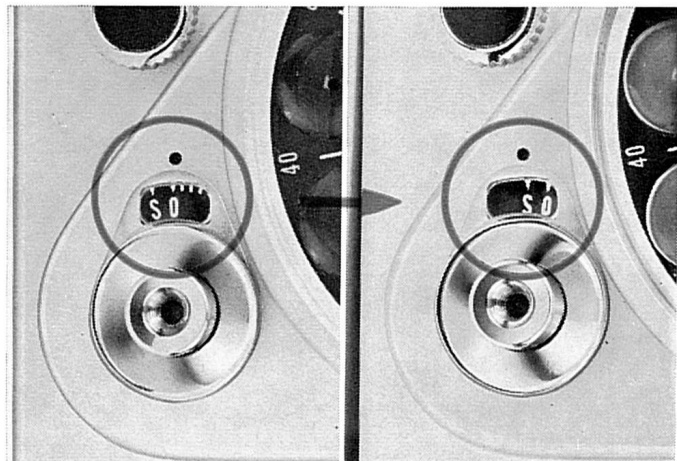
フィルムが終りになると、スプリングモーターを一杯に巻上げても、シャッターボタンは押せませんから、撮影をやめてフィルムを巻戻します。

1 フィルム巻戻し用の R ボタンを右に回しながら押し込み、ボディ側の白点に R ボタンの白点を合わせます。

2 フィルムはスプリングモーターの巻上げられている分だけ自動的に巻戻されます。

● スプリングモーターが一杯に巻上げられている場合は約 20 枚分巻戻されます。





3 その後は R ボタンから指を離さずに、フィルム枚数計が S になるまでグリップを回します。

● フィルム枚数計が S になったとき、フィルムは初め装填したときの状態に巻戻されています。

4 裏蓋開閉ノブを矢印方向に押し下げて裏蓋を開き、パトローネを取り出します。



フラッシュ撮影

Canon
ダイヤル35-2

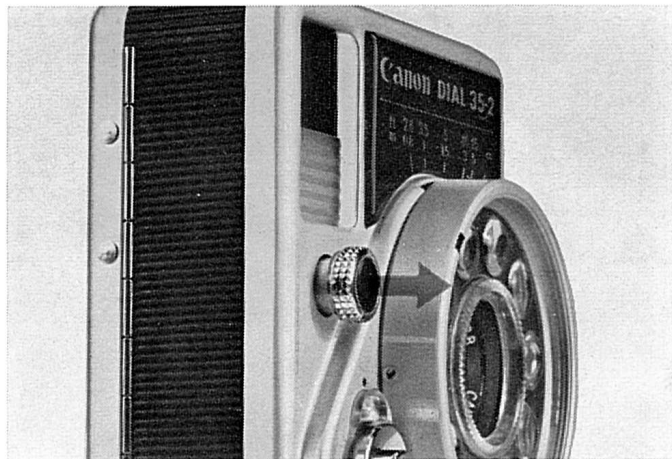
1 オートをはずす

オート・フラッシュ切換えボタンを引き出すと
EE機構が解除され、任意の絞りで撮影できます。

2 シャッタースピードをきめる

シャッターリングを回して、リングに彫刻された目盛を指標に合わせます。このとき1/30秒に合わせれば、右表のすべてに同調します。

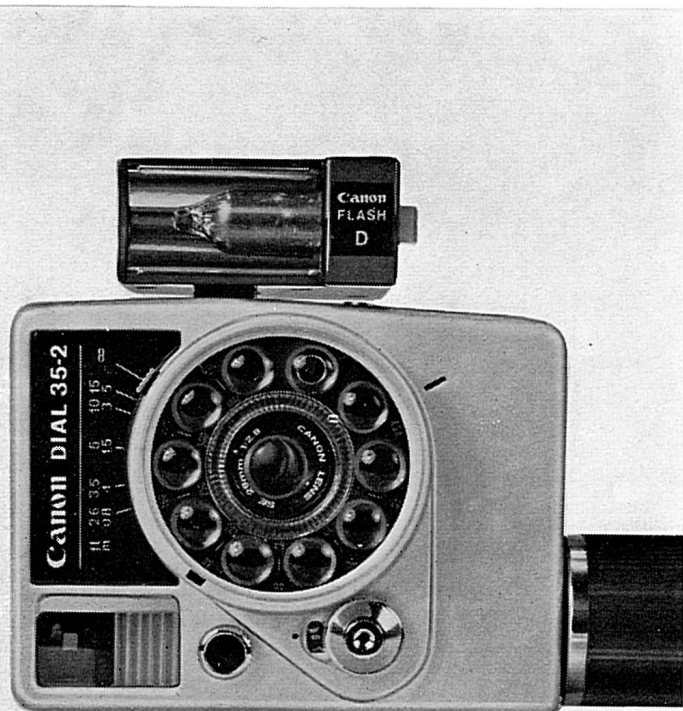
(右表参照)



| シャッター スピード | バルブ の種類 | X スピード ライト | M F クラス | M クラス |
|---------------|------------|------------------|------------|----------|
| 1/30 | | ○ | ○ | ○ |
| 1/60 | | ○ | ○ | × |
| 1/125 | | ○ | × | × |
| 1/250 | | ○ | × | × |

○=使用できる

×=使用できない



3 フラッシュユニットの取付け

アクセサリースューにフラッシュユニットを取りつけ、コードをフラッシュソケットにさし込みます。

● このカメラのアクセサリースューには直結接点がありますから、コードのいらぬフラッシュDを用いることができます。

4 絞りの決め方

絞り値は使用するフラッシュバルブのガイドナンバーを距離で割って求めます。

$$\text{絞り値} = \frac{\text{ガイドナンバー}}{\text{撮影距離}}$$

つぎに切換えボタンを回して、上記の計算によって算出された絞り値にファインダー内の指針を合わせます。

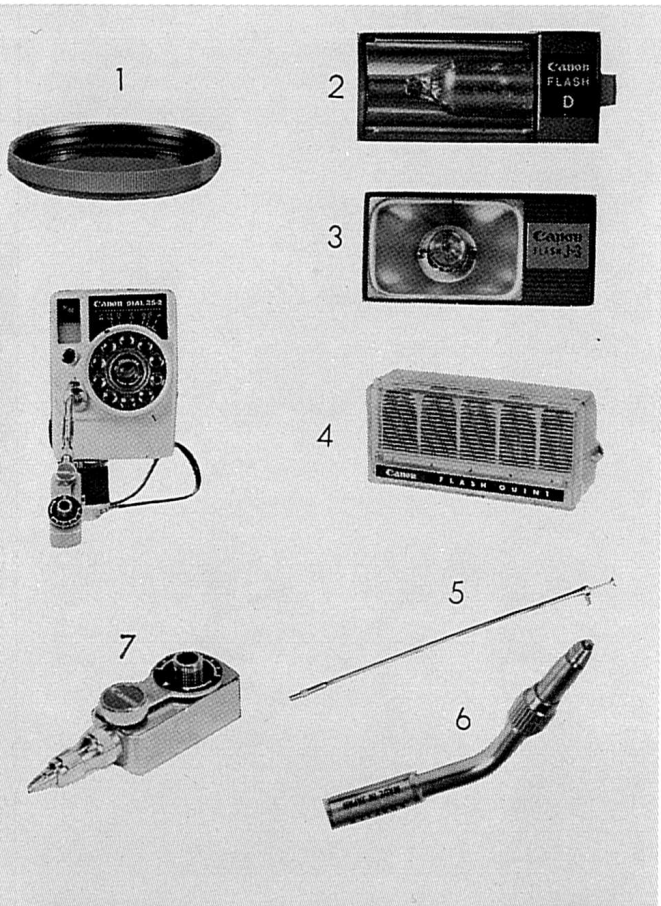
フィルターの使用

フィルターをかけて EE 撮影をする場合、フィルム感度調節用の受光レンズが同時にカバーされますから、露出倍数に神経を使う必要はまったくありません。

フィルターは 48 mm ねじ込み式を使用します。



アクセサリー各種



- | | |
|---|----------------|
| ① 48 mm ねじ込みフィルター | |
| UV (常用フィルター) | 780 円 |
| Y ₁ Y ₃ O ₁ G ₁ R ₁ 各色 (黒白用) | 750 円 |
| ND 4, ND 8 (光量調節用) | } 780 円 |
| CCA, CCB, スカイライト(カラー専用) | |
| ② キヤノンフラッシュ D | 800 円 |
| ③ フラッシュユニット J-3 | 1,050 円 |
| ④ フラッシュクイント | 2,950 円 |
| ⑤ キヤノンレリーズ | 250 円 |
| ⑥ レリーズアダプター | 100 円 |
| ⑦ セルフタイマー 6 | 540 円 |

ファインダー接眼窓

アクセサリシュー

フラッシュ直結接点

ASA-DIN 換算表

シャッターリング

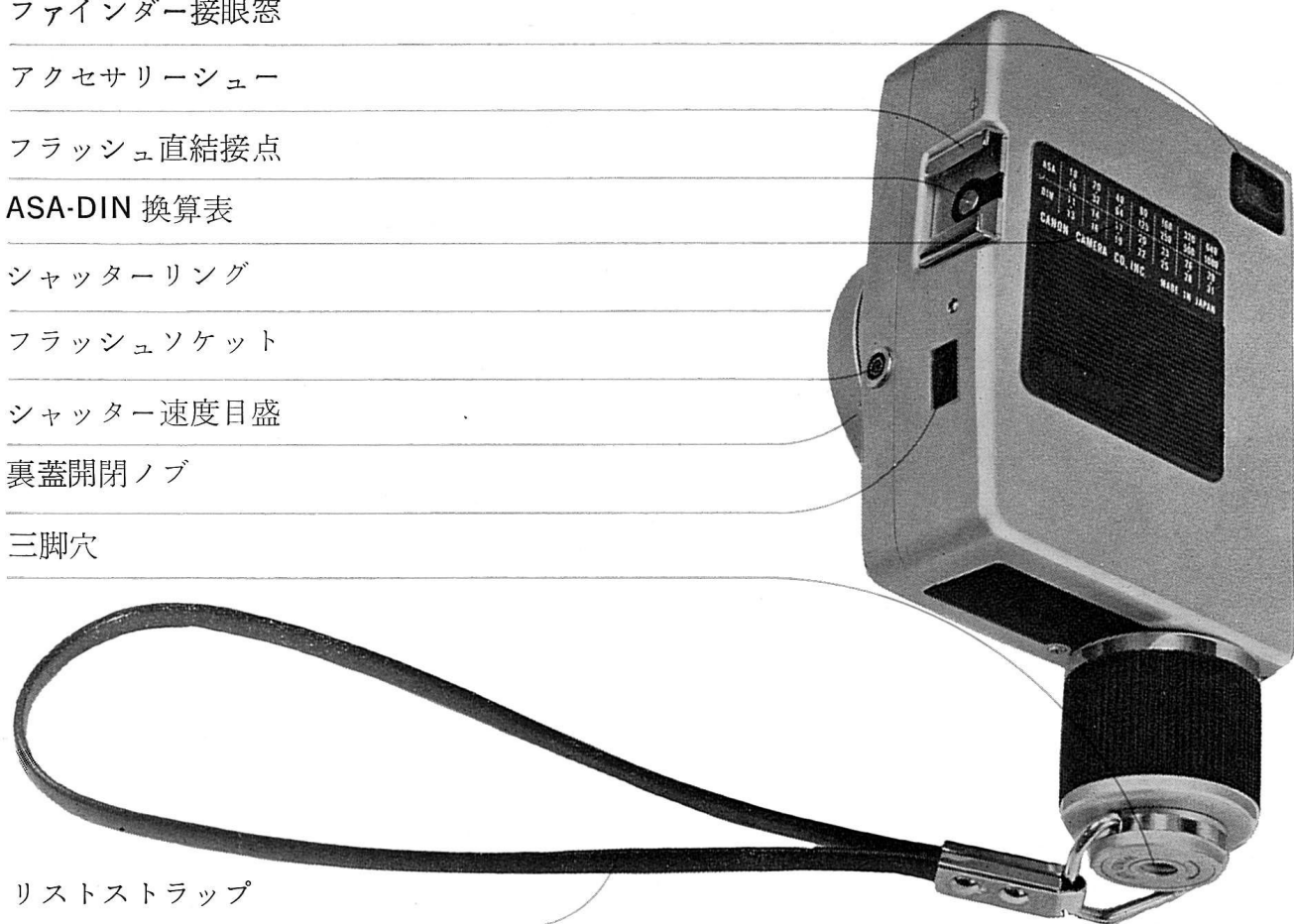
フラッシュソケット

シャッター速度目盛

裏蓋開閉ノブ

三脚穴

リストストラップ





キヤノンカメラ株式会社

(104) 東京都中央区銀座 5-9-9

☎ (03) 572-4251

営業所・サービスステーション

☎

銀座 (104) 東京都中央区銀座 5-9-9 (吹原ビル1階) (03) 572-4271~3

大阪 (530) 大阪市北区梅田2 (第一生命ビル2階) (06) 341-9335

名古屋 (450) 名古屋市中村区堀内町4-1 (毎日会館2階) (052) 581-3811

福岡 (810) 福岡市天神1-11-17 (福岡ビル9階) (092) 74-8431

広島 (730) 広島市幟町14-11 (0822) 21-4615~6

札幌 (060) 札幌市北三条西4-1 (第一生命ビル4階) (0122) 23-5788

仙台 (980) 仙台市東二番丁68 (富士ビル8階) (022) 25-0215~7

新潟 (950) 新潟市東大通1-23 (マルタケビル7階) (0252) 44-0758~9

静岡 (420) 静岡市御幸町9-2 (大吉野ビル2階) (0542) 55-2241

横浜インフォメーションセンター (231) 横浜市中区桜木町1-1

(ゴールデンセンタービル1階) (045) 201-7348